

# 日本企業がベトナムの人材について どう期待するか？

山一証券株式会社  
名誉顧問 岡本 晋

- 本日は、このような席で発言の機会を頂戴することができ、大変光栄に存じます。

- 私は、10数年にわたりベトナムの目覚ましい発展を拝見してまいりました。きっかけは、あるイギリス人との偶然の出会いでした。当時、日本のソフトウェアベンダーは、製造部分を中国企業に委託することが多かったのですが、中国の人件費の高騰、政治情勢の不安定さから中国以外の第三国への委託を考える必要が出てまいりました。このような時、ある会合でイギリスのソフトウェアベンダーの経営者とお話しする機会があったのですが、彼はすでにベトナムの企業に委託し、結果に満足しているという話でした。私はそれまでベトナムには全く接点もない状況でしたが、さっそく彼から連絡先などを聞きまして、アポイントの依頼をいたしました。幸いなことにこの不躰な依頼を受けていただくことができました。

- さてホーチミンです。タンソンニエット空港にランディングした時の大きな驚きを、今でもはっきりと覚えております。誘導路に入ると、戦時そのままの掩体壕、格納庫が当時のまま残っています。ああここは戦場なのだ。というのが第一印象でした。しかし、この思いは市内に入ると全く変わりました。
- 第一印象から、市内の状況はカンボジアと同じような傷病者が目につくものとはばかり思っていました。しかし、ベトナムの市内は、若い人々のバイクの大群が所狭しと走り回り、活気に満ち溢れています。それと戦勝記念碑、忠魂碑の類は、一切ありません。
- 市民は、皆若く明るく活気にあふれていました。このベトナムの人々の明るさが、つらい戦争を無事に乗り越えられた最大の要因なのだ と確信しました。

- このように第一印象が見事に覆され、都市計画により新しいニュータウンも作られつつあるベトナムとの共同事業には大きな将来性が予見され、期待は大きく膨らんでいくのを覚えました。そして、この思いはその後裏切られたことはありません。先ず事業のスピード感です。ソフトウェア事業の要員数の計画は、千人単位の拡大を見込みます。さらに、この要員に対しソフトウェア製作技術だけでなく、日本語の教育も並行して行うということです。
- また、この拡大を担保するために大学、専門学校の設立の予定までありました。

- 歴史的に見るとベトナムは、中国の社会システムに近く、科挙の制度も持つ学歴重視の風土があります。このためベトナム戦争終了までは、北の人々はソ連へ、南の人たちは欧米への留学が盛んでした。ドイモイ政策後は、全世界へ若者が羽ばたいています。それに加え、大きな大学専門学校を作って若者の能力拡大を図っているのですから、国の将来は万全です。若者たちの自己実現意欲、将来に対する夢、志の大きさも素晴らしいものがあります。
- 第一回の訪問以来、20回ほどの訪問を重ねましたが、回を重ねるごとに変貌するベトナム社会を見ることは本当に楽しみなものです。また、人口ボーナスもまだ20年以上享受できるでしょうし、ベトナム人の勤勉さと明るさは、国の発展の大きな推進力になると思います。

- 私どもとの最新の共同事業は、漢字交じり資料の入力事業です。手書きの漢字交じり資料の入力は、漢字文化の中国でも難しいのですが、漢字を全く使わなくなって100年以上経つベトナム人にとって、これは本当に困難なことだと思います。ところが、ベトナムの人達は、素晴らしいスピードでこの難関をクリアしつつあります。今や、我々のほうが入力資料を用意するのに四苦八苦している状況です。
- おとなしく、我慢強く、物静かなベトナムの人々。このベトナムの人々が、最新兵器を駆使したアメリカ、物量で圧倒した中国の両方に勝ったということは、決して不思議ではありません。皆さんの秘められたパワー、能力の発露です。我々日本人としては、これからはこれまで以上に皆さんと手を携えて、素晴らしいアジアを作っていきたいと思っております。

**ご清聴ありがとうございます！**